



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

News Release

平成29年2月28日

平成28年度：第2回 経営効率化委員会を開催

(一社)日本物流団体連合会(工藤会長)は、平成29年2月27日今年度第2回経営効率化委員会(委員長:外山俊明氏 全日本空輸(株) 執行役員 貨物事業室長)を港区のTKP新橋カンファレンスセンターで開催した。

委員会に先立ち、株式会社ダイフク 執行役員 FA&DA事業部生産副本部長 三品 康久氏より「マテハンの動向と今後」と題した講演会が開かれ、会員企業の経営層や次代を担う中堅管理職など約70名が参加した。

講演では、マテハンが物流業界において、これまで果たしてきた役割・経緯をはじめとして、現在の利用実態のDVDによる例示紹介、今後も生産性の向上を推進する上で、マテハン機器の必要性と期待される方向性まで、マテハン機器全般の説明が幅広く行われた。

引き続き開催された第2回経営効率化委員会では、①今年度の活動報告、②平成29年度の活動計画について事務局より説明が行われた。

はじめに、①に関して、本年度の活動テーマとして掲げていた「先進技術の研究」「ユニットロードの推進」「女性・高齢者の活躍推進」「経営リスクとなる諸問題への対応」に関して、各々、講演会の開催、施設見学会の実施、ユニットロード小委員会の報告書作成・公表等、今年度行われた活動全般について説明がなされた。続いて②について、継続課題である「労働力不足対策」に関し、「物流の生産性向上・働き方改革」を主眼とする取組みに力点を置くという基本方針に基づき、「先進技術の研究及び既存技術の活用・工夫」の活動継続、「ユニットロードの推進」については小委員会の継続、「女性・高齢者の活躍推進」については、従来の識者による講演会開催継続に加え、今後、共稼ぎ世代における人材確保の為に必要と思われる「事務職在宅勤務制度」をテーマとした小委員会新規立ち上げ、更に、現在の予測困難な世界社会経済を見据えて「経営上留意すべき案件への対応(適宜講演会実施)」を新年度の活動のテーマとすること等が説明され、委員会の了承を得た。

以上
事務局 新村



講演会 風景



講師（株）ダイフク 三品 康久氏）



経営効率化委員会（委員長 外山 敏明氏）



委員会 風景